

地域包括ケアシステムの理想実現への処方箋。

公益社団法人生命科学振興会 九州支部長 納 利一
鹿児島市医師会中洲支部会員

調和が明日をひらくキーワード。

人間・社会・自然の調和のために。

人間・社会・自然・地球の健康・調和・永続のために。

地球的調和時代の実現・永続のために。

以下は甲南保健クラブのホームページ「甲突川健康新聞」と、その掲示板「甲突川健康掲示板」からの転載である。調和の明日を期待しつつ掲示板での意見交換を続けていく予定である。一人でも多くの皆様方からのご意見をいただきたい。

地域包括ケアシステム。

24時間365日生涯安心その後も安心。多施設連携・多職種連携かかりつけ医安心とともに会。

老後の生きがい・理想の最期・その後の安心。老後・最期・その後を考える三ご座談会。

「地域包括ケアシステム。」をキーワードに検索すると、「厚生労働省：地域包括ケアシステム。」などヒットする。

ともの会はチームボサツ。

おだやかな心を集めてつくる。なごやかな組織を「ともの会」と呼びたい。ともの会はみんなの心の中にある仏心を少しずつ集めてつくる「チームボサツ」でもあると言えるであろう。

地域包括ケアシステムの理想実現のために。

医師会病院を核に多施設・多職種が連携して、かかりつけ医連携安心ともの会（仮称）・三ご座談会（仮称）とでも呼べるもの始めることで、地域包括ケアシステムの理想を実現していくのではなかろうか。

自分流生死哲学のすすめ。

人の健康は心・体・気の調和。人間の健康は社会・自然・地球の健康の中にある。地球も病気、自然も病気、社会も病気。心・体・気の不調和に悩まされているのが私たちの病気の原因ではなかろうか。

ではどう考え、どうしていけばよいであろうか。

まだ万人共通の生死哲学がないのではなかろうか。

タイ洞窟事故ではコーチのおだやかな心からの、なごやかな空気がチームを救った。

まず私たち古希（70歳）を過ぎた老人たちが、それぞれに、自分の心をおだやかにする自分流生死哲学を持つようになることを心がけることから始めたらどうであろうか。

「自分流生死哲学のすすめ。甲突川」をキーワードに検索すると、「鹿児島市医報：われにきびしく・ひとにやさしく・うそつかず・みんなが調和し幸せに。」などがヒットする。

その後の三つの安心。

なぜ生きる・どう生きる・どう死ぬ・その後はどうなる・その後をどうする。

老後の生きがい・理想の最期・その後の安心。

その後の三つの安心。

1. 死後の自分の安心。

2. 遺族の安心。

3. 未来に生まれてくる子どもたちの安心。

未来に生まれてくる子どもたちが「こんな地球には住めないではないか」と、がっかりするような地球を残したくない。

みんなの地球をみんなのためによりよい星に。人間・社会・自然・地球の健康・調和・永続のために。

「健康・調和・永続。」をキーワードに検索すると、「日本社会の病気の原因と治療。」、「鹿児島市医報：学校保健の健康から人類の健康と永続を。」、「もりづくり甲突川。」などがヒットする。

母親の仕事・父親の仕事。

知分尽分（ちぶんじんぶん）。分を知って分を尽くす。

母親とは何か。何をすべきか。父親とは何か。何をすべきか。何をすべきでないのか。

母親でなければできない仕事が母親がやるべき大切な仕事であろう。

父親でなければできない仕事が父親がやるべき大切な仕事であろう。

いのちある子どもを産み守り育てる尊い母親の仕事に勝る仕事はない。お金を稼ぎ家族を養う仕事などは父親にもできる。

老人の仕事。

余生をどう生きる。

死んだつもりで、余生を未来への恩送りに生きたい。

古今東西の知恵を地域へ世界へ未来へ。一生勉強・生涯現役・臨終定年。喜び老いて平然と逝き、地球の土となる。土は生物を育む。地球の生物を育み、地球をいのちを育む星として永続させたい。人間・社会・自然・地球の健康・調和・永続のために。

幸せ哲学。

幸せとは何か。

幸せとは、おだやかな心がつくる。なごやかな空気ではなかろうか。

人生の目標は、おだやかな心づくり。人生の目的は、なごやかな空気づくり。

「おだやかな心・なごやかな空気。」をキーワードに検索すると、「おだやかな心・なごやかな社会。」などがヒットする。

感謝感謝。

感謝に勝る良薬なし。

幸せは、さりげなく言える感謝の言葉から。

「感謝感謝。甲突川」をキーワードに検索すると、「人間の進化。」、「少欲・利他・感謝の人間。無欲・利他・感謝の神仏。」、「感謝に勝る良薬なし。」などがヒットする。「感謝の幸せ。甲突川」で、「甲突川希望のメッセージ。」などがヒットした。

感謝・情熱・希望。

昨日には感謝を。

今日には情熱を。

明日には希望を。

「感謝・情熱・希望。甲突川」をキーワードに検索すると、「清流の生死問答。」、「老人の責任・最期の健康・未来の希望。」などがヒットする。

目的・目標・現実。

目的には理想を。目標は現実をふまえて。

「目的・目標・現実。甲突川」をキーワードに検索すると、「教育の目標は何か。」などがヒットする。

平和調和。

世界平和・地球調和の地球的調和時代を実現し永続させるには、どう考え、どうしていけばよいであろうか。過去・現在の延長線上には人間・社会・自然・地球の健康・調和・永続はないのではなかろうか。

「平和調和。」をキーワードに検索すると、「平和調和は目標の止揚から。」などがヒットする。「平和調和。甲突川」で、「地球的調和時代を不戦の星の上に。」、「われにきびしく・ひとにやさしく・うそつかず・みんなが調和し幸せに。」などがヒットした。

明治維新・調和維新・世界平和・地球調和・地球的調和時代。

平成30年は明治維新150年・調和維新元年。

[隨筆・その他]

明治維新300年・調和維新150年を世界平和・地球調和の地球的調和時代にするには、今に生かされている私たちは、どう考え、どうしていけばよいであろうか。過去に感謝し、未来に夢を託しつつ、未来から感謝されるような現在を歩いていきたいものである。

「明治維新・調和維新・世界平和・地球調和・地球的調和時代。」をキーワードに検索すると、「地球調和憲法。」、「甲突川健康新聞：地球的調和時代を不戦の星の上に。」、「鹿児島市医報：われにきびしく・ひとにやさしく・うそつかず・みんなが調和し幸せに。」などがヒットする。

教育進化・人間進化・地球調和。

勝負教育から調和教育へと教育が進化すれば、勝負人間から調和人間へと人間が進化し、勝負社会から調和社会へと社会が進化し、世界平和・地球調和が実現し、地球的調和時代が永続していくのではなかろうか。

「教育進化・人間進化・地球調和。」をキーワードに検索すると、「調和教育・調和人間・人間進化。」、「教育進化・人間進化・地球調和の動画。」などがヒットする。

調和人間への進化の時。

勝利の喜びを追う勝負人間がつくる争い社会には人類の未来がないのではなかろうか。

調和の幸せを求める調和人間へと人間が進化すべき時が今なのではなかろうか。人間・社会・自然・地球の健康・調和・永続のために。

人間の進化は教育の進化から。負けるな・うそをつくな・弱い者をいじめるな。この薩摩の郷中教育の教えなどを明治維新のふるさと鹿児島市の幼児教育・子ども教育で研究的に実践しながら世界へ未来へと普及させていくべきよいのではなかろうか。

「調和人間への進化の時。」をキーワードに検索すると、「調和教育・調和人間・人間進化。」などがヒットする。

「調和教育・調和人間・調和社会・世界平和・地球調和。」で、「本能・理性・調和・教育。」、「地球的調和時代は世界的江戸時代から。」、「鹿児島市医報：われにきびしく・ひとにやさしく・うそつかず・みんなが調和し幸せに。」などがヒットした。

われにきびしく・ひとにやさしく・うそつかず・みんなが調和し幸せに。みんなの範囲をよりひろく。世界のみんなが幸せ世界平和。地球の全生物が幸せ地球調和。私たちを嫌っている人々も幸せでありますように。人類を嫌っている動植物も幸せでありますように。

東西医療座談会（仮称）への期待。

過去・現在の延長線上には未来がないのではなかろうか。「古今東西の知恵を集めて、よりよい医療を。医療の健康から人間・社会・自然・地球の健康・調和・永続を。」を目標に、「東西医療座談会（仮称）。」とでも呼べるものスタートさせ、それを健全に永続させることができれば、よりよい明日を期待できるようになるのではなかろうか。なにとぞよろしくお育てくださいますようお願いいいたします。

「健康・調和・永続。」をキーワードに検索すると、「人間・社会・自然・地球の健康・調和・永続。」などがヒットする。

「東西医療座談会。甲突川」で、「鹿児島市医報：学校保健の健康から人類の健康と永続を。」、「鹿児島市医報：みんなの地球を、みんなのために、よりよい星に。」などがヒットした。

調和の明日への期待。

明治維新150年・平成30年は調和維新元年であってほしい。

明治維新300年・平成180年・調和維新150年は地球的調和時代であってほしい。

「調和の明日。甲突川」をキーワードに検索すると、「東洋医学的健康づくりの研究的実践。」などがヒットする。